

J R 東海労申第 1 2 号
2 0 1 7 年 8 月 1 7 日

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 柘植 康英 殿

J R 東海労働組合
中央執行委員長 小林 光昭

「浜松工場脱線事故」に関する申し入れ

8月9日マスコミで、「8日午後4時45分ごろ、浜松市中区南伊場町のJ R 東海の浜松工場で、出庫のため走行していたN700系の新幹線車両（16両、約400メートル）が脱輪した。同社によると、脱輪したのは9～11号車で、車内に乗客はおらず、けが人はなかった。脱輪の影響で2号車部分が市道と交差する踏切で立ち往生し、市道が通行できない状況になった」「この踏切付近では2008年10月にも新幹線の試験車両が脱輪している」と報道された。

J R 東海労は、これが事実なら安全上看過できない事態だと考える。下記の通り申し入れるので誠意ある対応を行うこと。

記

1. 脱線の詳細について時系列で明らかにすること。
2. 脱線の原因について明らかにすること。
3. 運転士が異常に気づいたと報道されているが、具体的にどのような経過であったのか明らかにすること。
4. 2008年10月にも脱線事故が発生しているが、その時の再発防止対策はどのような対策だったのか。又、今回の事故の時に、その対策は施されていたのか。更に、対策が施されていた場合、対策が施されていたにもかかわらず、なぜ脱線が再発したのか明らかにすること。
5. 長時間にわたる踏切の通行止めや復旧作業により、多くの地域住民や通行する車両にご迷惑をお掛けしたが、その対応、及び陳謝について明らかにすること。
6. またもや発生した脱線事故の具体的な対策について明らかにすること。

以 上